

初代道後湯之町 町長
伊佐庭如矢 顕彰企画展

い さ に わ ゆ き や
伊佐庭 如矢

(1828~1907)

伊佐庭如矢は、文政11年(1828年)9月12日、町医者者の成川国雄の三男として生まれました。十六歳の時に松山藩家老の菅良弼の家司、阿部庸男のもとに養子となり、その後、庸男の娘・射狭と結婚。

安政3年二十八歳の時、「老梅下塾」を開き千人余りの門弟を教える。四十歳で明治維新を迎え、長男柯が二十歳になり、阿部家を長男に継がせ、如矢は別家して伊佐庭姓を名乗るようになりました。

明治23年、伊佐庭如矢は初代道後湯之町町長に就任し、温泉の改築をはじめ、数々の改革に着手していきます。その改革は温泉を中心に、百年先を見据えた、今で言う「まちづくり構想」につながるような先見的な政策がうかがえます。

本企画展では、数ある伊佐庭如矢の功績の中から大きく4つの偉業「松山城の公園化実現」「道後温泉本館の改築」「道後公園(湯築城公園)の整備」「道後公園(湯築城公園)の整備」について、直筆の書簡や遺品、当時の関連資料などを展示し、今の道後の礎を築いた伊佐庭如矢の功績を紹介いたします。

伊佐庭如矢4つの功績

功績1

松山城の公園化実現

政府から城郭を無償で払い下げてもらうことに成功



功績2

道後温泉本館の改築

壮麗な三層楼の本館が建設され、多くの入浴客で賑わう



功績3

道後鉄道の開設

発起人の一人として、鉄道の開設に尽力



功績4

道後公園(湯築城公園)の整備

市民や入浴客が散策できる回遊式公園を整備



もうひとつの功績

湯ざらし団子の考案

その後「坊っちゃん団子」の名で知られる「湯ざらし団子」を如矢が考案されたとされています



(現在の坊っちゃん団子)

「伊佐庭如矢」シンポジウム 入場無料

期 間／平成25年2月16日(土) 14:00~16:30
場 所／子規記念博物館 1階視聴覚室 定員／100名程度
※事前の申し込みは必要ありません。当日どなたでも参加いただけますが、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■オープニングセレモニー 14:00~

■講演「伊佐庭如矢の功績について」14:30~15:30

出演：野志克仁(松山市長)、二神 将(伊予史談会)

■基調講演 15:30~16:30

「新しい時代の新しいまちづくり」

〈講師〉 建築家 東京大学名誉教授 **内藤 廣**

1950年横浜市生まれ。76年早稲田大学大学院修了。フェルナンド・イゲラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所を経て、81年内藤廣建築設計事務所を設立。2001年から東京大学大学院教授、副学長を歴任後、2011年に退官。現在、同大学名誉教授・総長室顧問。



子規記念博物館

道後温泉駅より徒歩5分/道後公園より徒歩5分
※公共交通機関をなるべくご利用ください。

主催／伊佐庭如矢顕彰事業実行委員会

松山市、道後温泉旅館協同組合、道後商店街振興組合、道後温泉誇れるまちづくり推進協議会、伊予鉄道(株)、(株)伊予銀行、(株)愛媛銀行、愛媛信用金庫、郵便局株式会社四国支社